



広報

おおだ

色めく春の到来

4

2023

令和5年度 施政方針

人口減少対策と子育て環境を充実



施政方針を表明する市長

2月27日から3月17日にかけて、令和5年第1回大田市議会定例会が開催されました。

初日の冒頭で、楳野弘和市長が施政方針を表明。こちらでは一部を抜粋し、紹介します。

基本姿勢方針 —— 将来像の実現に向けた基本的な姿勢

「共創」

子どもから高齢者まで、年齢、性別、職業、国籍などを問わず、さまざまな人が一緒に楽しく夢を語り合いながらアイデアを創り、“おおだ”に関わるすべての人たちが、一緒に汗をかきながら、一つずつ形にしていきます

新年度の市政運営につきまして、私の所信を申し上げ、市民の皆さんのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

年明け早々、戦国時代末期の石見銀山を舞台とした千早苗先生の小説「しろがねの葉」が、第168回直木賞を受賞されました。改めて、心からお祝いを申し上げます。

初挑戦となる時代小説の舞台に石見銀山を選んでいただいたこと、また、その作品が素晴らしい賞に輝いたことは、新年から大変喜ばしい出来事でありました。

令和9年には、石見銀山遺跡の世界遺産登録20周年、銀山発見500年、大森銀山地区重要伝統的建造物群保存地区選定40周年の大きな節目を迎えます。このたびの受賞は、石見銀山遺跡の知名度向上に大きく寄与するものであり、遺跡の魅力や価値の発信をさらに推進してまいります。

本市の重要施策として、人口減少対策があります。

全国の出生数は、令和4年に初めて80万人を下回るといふ事態となり、国においては、経済的支援の強化、サービス拡充、働き方改革を3本の柱に据えた、具体策の検討が進められています。4月には、その司令塔として、新たに「こども家庭庁」が創設され、

子ども・子育てに関する取り組みや政策の強化が本格化します。

本市におきましても、令和元年に200人だった出生数は、令和4年には169人にまで減少し、また、令和3年の出生率は1・60となるなど、このまま推移すれば、人口減少が加速し、市の活力低下は避けられません。

この状況に対応していくため、改めて「総合的な人口減少対策事業」に着手し、さまざまな統計データについて根本的な要因の分析をおこなうとともに、未婚者や既婚世帯へのアンケートを実施し、その分析結果を踏まえ、具体的な事業に取り組みたいと考えております。

市政運営の拠点となる新庁舎の整備につきましては、市民の皆さんとの意見交換会や市議会でのいただいたさまざまなご意見を踏まえ、このたび、建設地を「大田市駅前周辺東側土地地区画整理事業地内」に選定しました。新年度からは、整備に係る基本計画の策定を進めてまいります。

あわせて、地域の活力を維持・向上するためには、若者の定住・人口流入が重要であり、子育て環境の充実、喫緊の課題であることから、新庁舎と同地域内に、「子育てにかかる総合支援拠点施設」の整備を進め、利便性を高めたいと考えています。

子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち“おおだ”

基本方針 —将来像を実現するための施策の柱

第1の柱 産業づくり ~多様で活力ある「産業」をつくる

産業振興を市政発展の最重要課題と位置づけ、積極的に取り組む

第2の柱 豊かな心づくり ~ふるさとを愛する「豊かな心」をつくる

豊かな自然や歴史・文化など多くの地域資源を市民の皆さんが誇りと愛着を持てるよう地域と連携し、学校教育・社会教育を推進

第3の柱 暮らしづくり ~だれもが住みよい「暮らし」をつくる

長引くコロナの影響により市民の皆さんの生活も大きく変化
多様化するニーズや課題にきめ細かく対応できるよう安全で安心な暮らしづくりに努める

第4の柱 都市基盤づくり ~くらしや交流を支える「都市基盤」をつくる

道路、下水道などのインフラ整備や市民の安全・安心のための環境整備を推進

第5の柱 自然・生活環境づくり ~人と自然が共生した「自然・生活環境」をつくる

多様で豊かな自然環境と市民の住みよい生活環境との共生を目指し、各種事業を推進

第6の柱 持続可能なまちづくり ~協働・共創により「持続可能なまち」をつくる

あらゆる取り組みについて「共創」によるまちづくりを基本姿勢とし、積極的に推進

また、市内を横断する山陰道の整備が進められており、「大田・静間道路」「静間・仁摩道路」の二区間については、新年度中に開通します。「福光・浅利道路」の整備についても、着実に進められており、一日も早い開通と、山陰道の早期全線開通に向けて、関係機関に強く要望してまいります。

新型コロナウイルス感染症につきましては、1月以降の感染者数が減少傾向に転じています。国においては、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけを、重症化リスクや感染力が高いとされる2類感染症から、5月に、季節性インフルエンザなどと同じ5類感染症に移行する方向で検討されています。

マスク着用ルールなどの感染症対策のほか、医療体制や医療費の公費負担など、私たちの暮らしに大きく関わることから、検討の状況を注視してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症や物価・原油価格の高騰などにより、市民の皆さんや事業者の皆さんが受ける影響に対する支援策については、引き続き、国・県と連携した対応に努めてまいります。

令和6年3月末をもって産業振興施設としての機能を廃止するサンレディー大田の後利用につきましては、

利用者の皆さんとの意見交換や市議会へのご説明を重ねてきました。「働く女性の家」部分には、洪水時の浸水想定区域に立地している「大田まちづくりセンター」の移転を、また、「ふれあいホール」部分には、災害用備蓄倉庫および市役所分庁舎の機能を移転することとしました。

今後の活動に支障が生じないよう、他施設の利用や大田市民センター内のまちづくりセンター移転後のスペースを貸館として利用いただくなど、調整を図ってまいります。

厳しい財政状況の中、公共施設の適正化は喫緊の課題であります。ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

新年度から、本市のまちづくりの指針である「第2次大田市総合計画」は、後期計画に移行します。前期計画中は、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画どおりに進まなかった施策が多くありました。そのため、前期計画の取り組みを検証・評価し、社会情勢の変化なども踏まえて、後期計画を策定しました。

引き続き、6本の基本方針に沿った具体的な施策に取り組み、魅力的なまちづくりを進めてまいります。

※ 全文は、市ホームページに掲載しています。

令和5年度 当初予算

一般会計 総額 225億3千万円

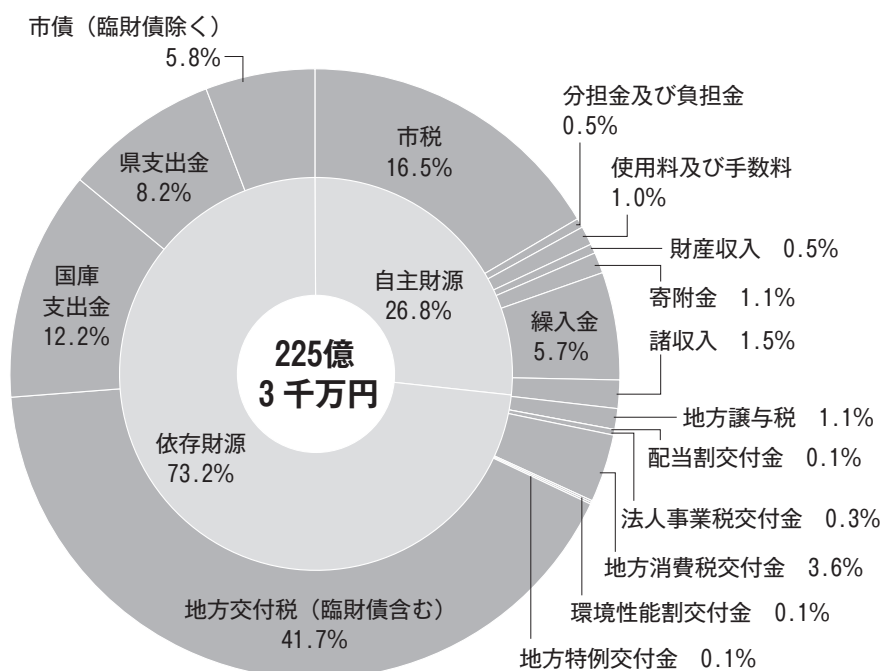
一般会計の当初予算の総額は、前年度に比べ
6億4千万円（2.8%）減の225億3千万円です

一般会計 歳入

市税・地方交付税が増加

自主財源の根幹をなす市税は経済活動の緩やかな持ち直しなどに伴い、前年度に比べ、3093万円（0.8%）増の37億1660万円。

依存財源の多くを占める地方交付税（臨時財政対策債を含む）は、物価高騰の影響などが考慮され、前年度に比べ、1億3053万円（1.4%）増の93億9540万円となっています。

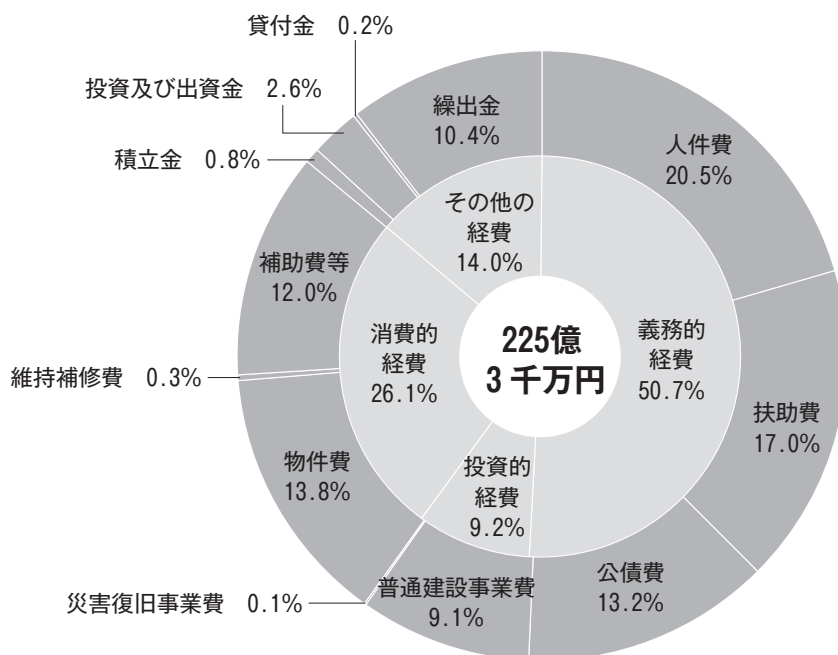


一般会計 歳出

特徴的な取り組み

サテライトオフィス等開設支援事業、校務支援システム導入事業、こども家庭総合支援拠点施設整備事業、隣保館新築整備事業、自治会防犯灯LED化事業、大田市公共施設照明LED化事業、公共施設再編事業などの事業を計上しています。

教育の魅力化や防災体制の充実、協働・共創のまちづくりや大田市立病院をはじめとする地域医療体制の確保についても、継続して取り組んでいきます。



市民の将来を明るく照らし おおだの新時代を切り拓くための予算

新年度の主な事業の内容

第2次大田市総合計画に掲げる「6本の柱」ごとに紹介します

◆は新規事業

①産業づくり

～多様で活力ある「産業」をつくる

- ◆「大田の大あなご」のブランド化 195万円
- ◇観光施設の改修・更新 1,700万円
- ◇農業生産基盤の整備・保全、生活環境の整備 1億6,641万円
- ◇循環型林業の推進 5,287万円
- ◇沿岸自営漁業者を目指す新規就業者への支援 240万円
- ◆民間主体のサテライトオフィス開設支援、入居・利用の促進 5,700万円
- ◆市営工業団地の環境整備 1,000万円

②豊かな心づくり

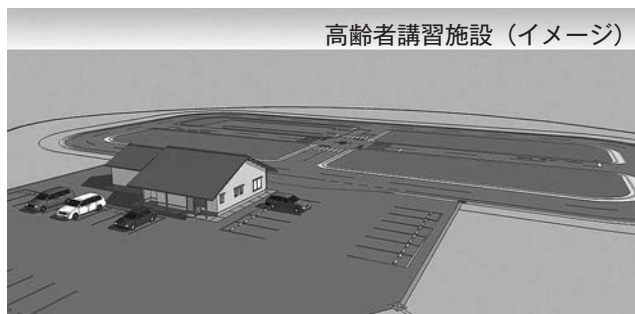
～ふるさとを愛する「豊かな心」をつくる

- ◆今後の学校再編に向けた調査・検討 68万円
- ◆小中学校における校務支援システムの導入 5,900万円
- ◇幼小中高における各種教育魅力化 2,341万円
- ◇小中学校における情報教育の推進 2,745万円
- ◇日本遺産「石見の火山が伝える悠久の歴史」の推進 972万円
- ◆大田運動公園の環境整備 1億470万円
- ◆地域おこし協力隊制度を活用した関係人口の拡大 1,240万円
- ◇山村留学の推進 3,800万円

③暮らしづくり

～だれもが住みよい「暮らし」をつくる

- ◆少子化要因の調査・分析 824万円
- ◇民間認定こども園施設の整備支援 2億593万円
- ◆こども家庭総合支援拠点施設の整備検討 1,835万円
- ◇不妊・不育症治療費の助成 300万円
- ◆高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 202万円
- ◇地域医療の確保に向けた取り組み 1,251万円
- ◆隣保館の移転新築整備 6,598万円



④都市基盤づくり

～くらしや交流を支える
「都市基盤」をつくる

- ◇大田市駅周辺地区の環境整備 1億4,200万円
- ◆山陰道開通記念イベントの実施 418万円
- ◇高齢者講習施設の新規整備 1億8,672万円
- ◆自治会防犯灯のLED化支援 1,000万円
- ◆消防団装備の充実強化 544万円
- ◇建築物の耐震改修促進 712万円
- ◆防災ハザードマップの改訂 1,578万円

⑤自然・生活環境づくり

～人と自然が共生した
「自然・生活環境」をつくる

- ◇新エネルギーの導入促進 441万円
- ◆公共施設照明のLED化 1億2,575万円

⑥持続可能なまちづくり

～協働・共創により
「持続可能なまち」をつくる

- ◆特定地域づくり事業協同組合への支援 1,201万円
- ◇持続可能なまちづくりに向けた地域の取り組み支援 2,873万円
- ◇まちづくりセンター等の改修 3,100万円
- ◇どがなかなか大田ふるさと寄附金の促進 1億3,057万円
- ◇市役所本庁舎の整備検討 4,330万円
- ◆サンレディー大田の機能再編 1,000万円

財政局 財政課 (☎0854-83-8016)

高機能消防通信指令システム 到着時間の短縮が可能に

消防本部では最新鋭の「高機能消防通信指令システム」を導入し、3月1日から稼働しました。

このシステムは、119番通報者の位置を瞬時に把握できるほか、消防隊や救急隊への出動を自動的に指示することができ、現場到着までの時間短縮が可能となります。



消防本部 (0854-82-0650)

システムの特徴

1. 速い出動体制

119番通報の受信と同時に通報者の位置情報を取得し、自動的に最寄りの消防署・出張所へ出動を指示。また、システムに連動し、防災行政無線や音声告知放送、メール配信システムで消防団などの関係機関へいち早く災害の発生を伝えます。

2. 最適な出動車両

災害の種類や規模、発生場所から最適な車両を自動で選択し、出動を指示。車両が出動した後も災害状況や傷病者の症状に関する情報を通報者から聞き、必要に応じて関係機関への要請や応急手当が必要な傷病者には、通信指令員が通報者に対して方法を指導します。

3. 安全性、信頼性の向上

大規模災害時など通報が集中する場合でも、システムが制御をおこない対応が可能。さらに、消防本部庁舎が被災し、119番通報の受信ができない状況となった場合でも、西部消防署へ緊急通報を迂回させて業務を継続することができます。



左から島根県大田農業部の山崎健治部長、上野屋蒲鉾店の土江工場長、JAしまね石見銀山地区本部生産販売課の林隆幸係長

規格外の野菜を使った加工品に 白ねぎを使った天ぷらが完成

2月9日、大田市産の白ねぎを使用した「白ねぎ天」の販売が発表されました。

これは、大田地域では白ねぎとアスパラガスの生産量の増加に伴い、出荷できない規格外商品や部位が増えており、それを使った加工品ができないかと上野屋蒲鉾店（土江元生工場長）と島根県、JAしまね石見銀山地区本部が連携して取り組んだものです。

土江工場長は、現物を見たときに十分に食材として使え、「絶対、すり身と合わせてもおいしいものができる」と

思った」と話しました。そして、試作を重ね、白ねぎ天が完成。魚のすり身よりも白ねぎが多く使われており、「白ねぎの甘さとシャキシャキとした食感と魚の風味も感じられる」と紹介しました。

JAの担当者は「県に相談する中で商品化につながった。白ねぎの出荷の規格にある葉の枚数や長さなどの基準から外れる商品や部位を活用してもらった」、また、島根県の担当者は「所得を向上させるために、使えないものを活用してもらえると、生産者も安心して生産ができる」と話しました。

また、今は廃棄している白ねぎの葉を使った乾燥チップスを試作中のほか、収穫期を迎えるアスパラガスを使った加工品の商品化に向け、関係者の期待が高まります。

白ねぎ天は、JAグリーンおおだなどで販売されています。

産業企画課

(0854-83-8075)

平成30年4月9日1時32分 最大震度5強

島根県西部地震から5年

大田市東部を震源とする島根県西部地震から、間もなく5年を迎えます。

自分の命は自分で守れるように家具の固定や避難場所・経路の確認、非常持出袋の準備など日頃から地震に備えましょう。



避難先や避難経路のほか、時間帯ごとの行動、連絡手段など家族で確認しましょう



各種物資のほか、3日から1週間程度の家族分の飲食物を備蓄。消費期限順に日常使用しながら備蓄する「ローリングストック」がおすすめです

関危機管理課 (☎0854-83-8009)

今回の防災資機材の整備は、近年頻発する豪雨災害など、さまざまな大規模な自然災害に備え、住民が安全で安心に生活できる地域づくりを

関危機管理課 (☎0854-83-8009)



北三瓶自主防災会 防災資機材を整備

宝くじ・コミュニティ助成事業

このたび、北三瓶自主防災会(須藤朋生会長)が、宝くじ「地域防災組織育成助成事業」の助成を受け、AED2台を整備しました。

野城農業集落
多目的集会所



多根自治会館



推進することを目的としたものです。

災害時には、地域の住民同士の「共助」が重要となります。日頃から、地域で防災について考えていきましょう。

全国大会出場

お疲れさまでした

全国大会へ出場した選手が
結果を市長に報告しました



志学中3年 甲斐 渓斗さん

第60回全国中学校スキー大会
(2月6日〜10日/長野県)

第35回全日本マーチングコンテスト
(11月20日/大阪府)



出雲北陵高等学校 吹奏楽部

(大田市在住/左から) 森脇 友智さん(3年)、
廣本 彩花さん(3年)、知野見夏生さん(1年)

日本体育大学と協定を締結



協定書を手にする松浪理事長(左)と市長

2月7日、学校法人日本体育大学と「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結しました。
この協定は、少年スポーツ活動の推進と指導者の育成のほか、競技力の向上、スポーツ活動の推進と健康・体力づくりの向上などに連携して取り組むものです。
協定締結式で、市長は「本市が進めるスポーツ活動を通じて人づくり・健康づくり・地域づくりを力強く推進できる」とあいさつ。また、松浪健四郎理事長は「日本体育大学のキャッチフレーズ『高齢者に健康を、子どもに夢を!』を挙げ、「健康寿命を延伸し、夢や勇気のあるたくましい子どもたちをつくりたい。地元を愛し、スポーツ好きな若い人材をつくりたい。地元を愛し、スポーツ好きで元気な若く人を育てたい」と語り、この連携協定を有効なものにしていきたい」と語りました。

関社会教育課 (☎0854-83-8129)

市長と教育委員が協議



大田市総合教育会議を2月21日に市民会館で開催しました。これは、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域における教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層市民の皆さんの思いを反映した教育行政を推進しようとするものです。

今年度は、11月から地域説明会を開催した「学校再編の考え方」の見直しについて、意見交換を実施しました。これらの意見を整理したうえで、今夏には教育委員会としての考え方をまとめ、見直した素案を作成します。この案については、皆さんにご意見をいただきながら、具現化していきます。

- ・市全体の出生数が年間170人程度の場合、1学年5～6クラス。数字上では、小学校、中学校ともに1校で足りる
- ・広い大田市では通学時間や親の負担などを踏まえ、適正な学校数をエリアごとに配置
- ・学校数が減ると「ふるさと教育」が重要。特に幼児期の教育を充実させる必要がある
- ・学校設置場所は、地域の教育資源の数値化や学校の誘致活動などを考慮しても良い
- ・再編実施計画（平成20年）や学校のあり方に関する実施計画（令和3年）策定において議論された理念を踏まえた検討が必要
- ・関係人口の拡大を意識し、特色があり多様な教育を受けられる学校があっても良い
- ・これからの子どもたちにとって、教育環境はどうあるべきかを示したうえで、将来的な学校配置を考えるべき
- ・教育委員会だけで考えるのではなく、市全体で考える必要がある

【地域説明会での意見】 11月～2月に開催した説明会での主なご意見は次のとおりです

計画の見直し

- ・策定から間もなく、驚いた
- ・計画の見直しは英断。子どもにとって、何が一番大切なのかを訴えていくしかない
- ・令和2年にも実施計画の話聞き、また実施計画の話。信用できない

学校再編

- ・必要。子どものための再編であるべき
- ・建物が危険なら、早めに判断してほしい
- ・施設の老朽化や子ども数の減少の話聞き、統廃合をしていかなければいけないと感じた

- ・地域としては、寂しい
- ・近くの学校に通学の方が良い
- ・教育委員会だけでなく、市として安心して生活ができるまちづくりを長期的な視点で考えてほしい
- ・お金がないとはっきりといえば良い。もう少し強引に進めても良いのではないか

学校施設の老朽化

- ・施設を定期的に保守していれば、今の状況にはなっていないのではないか
- ・大森小の改修は先延ばしせず、実施してほしい

☎教育部総務課（☎0854-83-8119）

アニメ「影ワニ」が完成

日本財団が推進する「海と日本プロジェクト」の一つに、一般社団法人「日本昔ばなし協会」が全国に残る海にまつわる民話をアニメーションで映像化する「海ノ民話のまちプロジェクト2022」があります。これに選定された温泉津町日祖地区に伝わる民話「影ワニ」のアニメが、このほど完成しました。

3月8日、アニメの上映会が温泉津小学校で開催され、子どもたちは真剣な表情で鑑賞しました。「自分の地域の話がアニメになって嬉しい」「いろんな人にアニメを見てほしい」と感想を語りました。

また、この日は3年生が「海苔すき」を体験。江戸時代に海苔場として栄えた温泉津町に伝わる作業にチャレンジしました。海苔の厚さを均等にするのに苦戦しましたが、児童の一人は「おいしくなれ」と思いを込めて作ったので、おいしく食べたい」と話しました。



アニメを鑑賞する児童



丁寧に海苔を広げました。さはもちろん、海を守り育てていくことの大切さを学びました。

☎学校教育課（☎0854-83-8179）

若手経営者へのメッセージ ワクワクする気持ち忘れないで



講師(画面)からアドバイスを受ける塾生

経営に関する幅広い知識の習得と大田市の未来を担う人財育成を目指す若手後継者・経営者の人財育成塾「おのだ未来創造塾」の発展編「NEXT!おのだ塾」を2月7日に開催しました。全5回の最終回となったこの日は、塾生一人ひとりがこれまで学んだマーケティング手法やデータの収集方法などを参考にし、それぞれの企

業の現状と課題や、これからの展望を踏まえたプランを熱心に発表。そして、そのプランについて講師や塾生同士で意見を交わしました。

講師を務めた株式会社やさしいビジネスラボの中川功一代表取締役からは、「ワクワクする気持ちを忘れたら、企業の成長はない。これからもこうした機会を通して、企業の未来創造をおこなってほしい」とアドバイスがありました。

産業界企画課

(☎0854・83・8073)

温泉津の魅力をまちづくりに

1月28・29日、温泉津町の魅力をひも解くワークショップ「温泉津100人会議」が、温泉津まちづくりセンターで開催され、延べ111人が参加しました。

これは、地域全体で温泉津の魅力を発見・共有し、まちのあり方を考える契機とするため、温泉津みらい合同会社と中国経済産業局が企画。参加者からは、温泉津自慢やまちづくりのアイデアが次々と

出され、改めて温泉津の地域力の高さを確認する機会となりました。

グループで話し合い、温泉プール・足湯カフェ・地元食材が並ぶ朝市・夕日の見えるテラスなど地域資源を生かしたアイデアのほか、町並みでのファッションショー・土曜夜市・えびす講の復活などのイベント案が出されました。また、小学生は、子どもが楽しめる店・インスタ映えする



意見を書き出す参加者

看板や観光案内所の充実という意見を出していました。今後は、アイデアを具体化していく取り組みが進められます。

まちづくり定住課

(☎0854・83・8030)

さらに魅力ある教育へ



大田市の教育を一層魅力あるものにしていくため、今年度設置した「おのだ未来☆夢

おのだ教育フェスタ

佐藤万里さんの講演も

「おのだ教育フェスタ」を1月28日、あすてらすで開催しました。

学校教育課の取り組み紹介や展示のほか、脚本家の佐藤

ランド」の第2回の会議を開催しました。

今年度の教育委員会の取り組みを報告したほか、地域総じて意見交換。出席者からは「子どもの声を生かしたまちづくりを進める」「学校に限らず多様な学び方を位置づけ、大田遺産を子どもとともに作っていく」「財源の確保に努め、前例にとらわれずチャレンジする」など多くの意見が寄せられました。

学校教育課

(☎0854・83・8179)



佐藤万里さん

万里さんを講師に迎え、講演会を開催。佐藤さんは「心に残る学びと教え」と題し、「努力しても夢が叶わないことがある。でも努力が足りないわけではない。発想を転換する力が必要」と語りました。参加者からは「いろんな気づきをもたらした」「子どもたちをいっぱい褒めてやるのが大切であることを改めて教えられた」「もっと地元の私たちが行動しなくてはいけない」などの声がかげられました。

学校教育課

(☎0854・83・8179)

中央図書館 ☎0854-84-9200 平日10:00~19:00 土日10:00~18:00
 仁摩図書館 ☎0854-88-4646 10:00~18:00
 温泉津図書館 ☎0855-65-2177 10:00~18:00

図書館においてよ



『絵で旅する国境』 クドル／文 ヘラン／絵
 文研出版（中央図書館所蔵）

島国で生まれ育った私たち日本人は、日頃「国境」を意識することは、ほとんどありません。しかし、世界地図を見ると、多くの国々が隣り合い、ジグソーパズルのように組み合わさっています。

作家と画家が6年もの歳月を費やし、世界の国境を丁寧に描き上げた絵本です。大人にも読みごたえのある1冊となりました。

◇展示テーマ

中央 「暮らしを彩る」
 仁摩 「4月といえば……」

◇行事と企画展

図書館	行 事	日	時
中 央	おはなし会	8日(土)・22日(土)	14:00~14:20
	ストーリーテリング	15日(土)	14:00~14:20
	古文書を読む会	15日(土)	14:00~16:00
仁 摩	おはなし会	15日(土)	10:15~10:45
	発達障がい啓発展	1日(土)~8日(土)	
	島根篆刻会作品展	5日(水)~24日(月)	
	おすすめこどもの本展示	8日(土)~5月8日(月)	

4月の図書館お休みの日

日	月	火	水	木	金	土
						①
②	3	4	5	6	7	⑧
⑨	10	11	12	13	14	⑮
⑯	17	18	19	20	21	⑳
㉓	24	25	26	27	28	㉑
⑳						

■：3館休館 ○：温泉津休館

大田を知って しゃべくりおおだ 就職を!

2月25日、大田地域人材確保促進協議会（会長／大田市長）がおおだ学生アンバサダーとともに「しゃべくりおおだ」を大田商工会議所で開催しました。

市外に住む学生と、大田市で働き、生活している若者がざっくばらんに話をすることで、UIターンを促進しよう企画したものです。

この日は、市内企業の若手社員16人と学生18人が参加。大田での仕事や生活、大田の魅力について語り合い、ランチタイムには大田市のグルメを堪能しました。和やかな雰囲気、学生からは「大田市での将来の生活がイメージできた」などの声が聞かれました。



学生は興味深く話を聞きました

今後も市内就職につながるイベントなどを開催予定です。

問産業企画課
 (☎0854-83-8075)

第30回 サンレディーフェスタ

サンレディーフェスタが2月25・26日、サンレディー大田で開催されました。バザーや各種展示のほか、利用者団体による学習発表などが催されました。

第30回を記念した男女共同参画講演会の講師は、放送作家の野々村友紀子さん。芸人として活動後、放送作家へ転身し、現在は吉本総合芸能学院(N S C)の講師や作家業に加え、テレビ出演するなど多方面で活躍中。「強く生きるためのヒント～野々村友紀子が伝えたい人生で大切なこと～」と題し、生きていくうえで大切だと思うことを実体験を踏まえたメッセージとして語りました。



講師の野々村さん

また、野々村さんが悩みごとに答えるお悩み相談コーナーでは、司会者も巻き込みながらのユーモアあふれる回答に、来場者400人は大きく盛り上がりました。

問人権推進課 (☎0854-83-8038)

多文化共生社会の実現に向けて

アンデルソンさん

大田市に住んで5年になるアンデルソン・アルベス・シルバさん（ブラジル出身）に大田での暮らしについて、お聞きしました。

大田市に住んでみて

日本で初めて住んだ場所が大田市で、休みの日には家族で三瓶山に行ったり、仁摩健康公園へ行ったりしています。大田市には素敵な海岸があり、とても気に入っています。

最初は日本の学校へ入れることに不安でしたが、今は不安に感じることもなく学校へ通わせています。

日本の学校

子どもが市内の学校へ通っています。最初は、日本の学校へ入れることに不安でした。学校やサポートしてくれる人のおかげで、今は不安に感じることもなく学校へ通わせています。

日々の暮らし

仕事の都合で、土日が休みとは限りませんが、休みが合うときには家族と過ごした

外国人が読みやすいように漢字とカタカナにふりがなをつけています

り、インターネットをしたりして過ごすことが多いです。

大田市で仕事をするのが決まってから大田市のことをインターネットで調べました。情報が少なく、自分で大田市や日本のことを情報発信してみようと思い、YouTubeに動画をアップしました。ブラジルに帰っても、今の活動をもとにインターネットを活用したビジネスをしたいと思っています。

アンデルソンさんは家族思いで優しい人でした。ブラジル人向けに作られた「生活ガイドブック」には、日本で働くための手続き、日本の税金や社会保険制度のこと、困ったときの相談先など、自身の体験をもとにブラジル人が日本で安心して暮らせる情報を掲載。ブラジルと日本の懸け橋となる活動に取り組んでおられます。

関総務部総務課

☎0854-83-8013



おおだで、働く。

大田にどんな職場があるのか、大田でどんな人が働いているのか、そしてどんな思いを抱いて働いているのか——。大田で働く人にインタビューしてきました！

関産業企画課（☎0854-83-8075）

東幸建設株式会社

三嶋 進さん



大田市出身。高校を卒業後就職、24歳で東幸建設株式会社に入社しました。

建設や土木関係の仕事は、依頼を受けてからスタートしますが、工事の依頼を受けたらまずは工程の調整をします。

クライアントの依頼内容にあわせて工事のスケジュールや施工方法を決め、工事の段取りをおこないます。また、工事の際は近隣の住民のかたがたの理解をいただくことが必要なので、工事の概要説明のチラシを作ることもあります。

道路を作ることが多いので、安全に走行できる道を作ることにこだわっています。

利用者から直接声を聞けることは少ないですが、友人から「この間、通ったけど良い道だったよ！」と言ってもらったことがあり、そのときは嬉しかったです。

休みの日は、家の庭を使って野外炊飯をするのが好きです。家で野外炊飯ができるのは都会では味わえない、田舎ならではの魅力だと思います。大田は山もあって海もあって、やっぱり自然が多いところが好きです。

これから先も大田で楽しく過ごせていけたら……と思います。

おおだに働くところ、あります！



おおだの企業情報はこちら



ジョブサーチおおだ



こんにちは
保健師です

「8020」だけじゃない！？ 「6024」「4028」、あなたの歯は何本？

大人の歯は、親知らずを含めすべて生え揃うと32本ですが、親知らずは生えなかったり、抜いたりする場合もあるため、歯の本数は人により28本から32本です。

「8020」は「ハチ・マル・ニイ・マル」と読み、「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という8020運動で、皆さんも聞いたことがある言葉ではないでしょうか？

最近では、「6024運動」や「4028運動」という言葉も広がりつつあります。文字通り、「60歳で24本以上、40歳で28本以上自分の歯を保とう」という運動です。

歯を残して噛むことのメリット

(出典：日本訪問歯科協会)

胃腸の動きを促進する	唾液中の消化酵素の分泌が盛んになり、細かく噛み砕けば、胃腸への負担を和らげます
むし歯・歯周病・口臭を予防する	唾液の分泌が増え、唾液の抗菌作用によって口の中の清掃効果が高まります
肥満を防止する	ゆっくりたくさん噛むと満腹感が得られ、食べ過ぎを防ぎます
脳の働きを活発にする	噛むことで脳への血流が増加して働きを活発にするために、脳の若さを保って老化を防止します
全身の体力の向上	よく噛めば全身に活力がみなぎり、体力が向上します
味覚が発達する	じっくり味わうことができ、味覚が発達します
発音をはっきりする	口の周りの筋肉が発達し、言葉の発音もはっきりします
がんを予防する	唾液に含まれる酵素には、食品中の発がん物質の発がん性を抑制する効果があるとされています

大切なのは「セルフケア」と「プロフェッショナルケア」



セルフケア

日常の歯みがき
食生活・禁煙 など



プロフェッショナルケア

歯科医院での
定期的な予防処置・歯みがき指導

いつまでも自分の歯を残すためには、子どもの頃・若い頃からの習慣が大切です。

この機会に、家族でお口の健康について考えてみませんか。

☎健康増進課 (☎0854-83-8151)

医療法人 郷原医院

肝臓・消化器内科・内視鏡内科
呼吸器内科・内科・小児科

— 各種健診・人間ドック・予防接種 —

院長 福田 亮

日本肝臓学会認定専門医・日本消化器内視鏡学会認定専門医・日本消化器病学会認定専門医

診療時間 8:00~12:00
14:00~19:30

休診 第1・3・5木曜・日曜・祝日 第2・4木曜の午後

〒694-0024

大田市久利町久利726-4

☎(0854) 82-0817

郷原医院前
バス停下車

駐車場完備

《久利郵便局ななめ前》



(広告)

健康ガイド4月

健康増進課

(☎0854-83-8151)

☆マークの検診では自己負担が軽減

【無料になる人】生活保護世帯の世帯員、福祉医療受給者、市民税非課税世帯の世帯員

【半額になる人】大田市国民健康保険加入者、島根県後期高齢者医療制度加入者

※ 必要な書類や手続きについては、健康増進課までお問い合わせください。

がん検診（個別）

※ 直接各医療機関へ予約してください。

種 類	医療機関		対象者など
☆乳がん マンモグラフィ 検診	大田市	市立病院（医事室☎0854-84-7571）	40歳以上の女性（完全予約制） ◎自己負担金 2,000円 ・市立病院は2回の受診が必要
	出雲市	ひやくどみクリニック（☎0853-21-0130） ヘルスサイエンスセンター島根（☎0853-20-0649）	
☆子宮頸がん 検診	大田市	市立病院（医事室☎0854-84-7571）	20歳以上の女性 ◎自己負担金 ・子宮頸部検査 1,500円 ・HPV検査（希望者）1,500円
	出雲市	島根県立中央病院ほか7医療機関 （市ホームページでご確認ください）	

4月の子育て応援コーナー

※ 予約制です。子ども家庭支援課（☎0854-83-8152）へお申し込みください。

種 類	日 時		場 所	内容・対象	お持ちいただくもの
乳幼児相談	5日(水)	9:00~11:00	母子包括支援センター おおだっこ (市役所1階)	身体計測・育児相談 栄養相談	母子健康手帳 バスタオル おむつ など
授乳相談 「ごくごく」	19日(水)	13:00~15:45		身体計測・母乳相談	
離乳食教室 (前期)	6日(木)	10:00~11:30 受付9:45~	仁摩保健センター	生後8か月ごろまでの 乳児とその保護者	

子ども医療電話相談

つながらない場合 ☎03-3478-1060

#8000

【受付時間】（東京都内までの通話料が必要）

平日/19:00~翌朝9:00 土日・祝日/9:00~翌朝9:00



献血にご協力ください

4月10日(月) 13:00~16:00

大田市役所

明日につなげる地域医療

市では地域医療を担う人材を育成するため、地域医療に貢献したい熱意のある高校生を島根大学医学部や石見高等看護学院に推薦しています。この制度を活用して、昨年4月に島根大学医学部に進学した2人の学生をご紹介します。



西本 沙弥さん



丸亀 新太さん

私は育ててくれた地元之恩返しをしたいという思いと、身近な人の最期を自宅で迎えたいという願いが叶わなかった経験から医師を志すようになりました。

大学に入学し、初年度は基礎教養ばかりなのかと思っていました。意外と医学的な科目も多く、実りある日々を過ごしています。患者さんの「暮らし」を大切に、バツクグラウンドから支えられるような医師を目指し、引き続き勉学に励みたいと思います。

キャンパスのある出雲に住み始めて1年が経過しましたが、市外で生活することで改めて大田の良さに気づかされました。日々の勉強は大変ですが、バスケットボール部にも所属し、充実した大学生活を送っています。

将来は大好きな大田市に貢献するため、まずは目の前にある一つひとつの学びを確実に習得し、地域の皆さんから応援していただける医師になれるよう頑張っていきたいと思っています。

医療政策課

(☎0854-83-8057)

きずな

令和4年度「人権作文コンテスト」
高校の部 最優秀作品

新しい社会のために

大田市では、令和4年度「人権作文コンテスト」を実施しました。

今回は、高校の部の最優秀作品を紹介します。

(原文のまま)



大田高校1年
篠原 悠里さん

去年の秋に、東京都の公立高校入試では男女別定員があることを知った。男子と女子の合格ラインが異なり、合格した男子と同じ成績でも女子は同じ高校に入学できないという事実。都民でもないのに、ショック、驚き、腹も立った。すぐにネットニュースを確認した。「東京都では、男子校より遥かに女子校の方が多くから、男女別定員制は仕方がない」と肯定する意見も多く目にする。男女別定員は仕方のないことなのか。私は、成績順に入学させるものだと思っていたし、受験生だったから、東京に住む女子にふりかかっていることが他人事を感じられなかった。それから、今まで意識を向けることのなかった男女で区別されている事実や制度、分野について気に留めるようになった。

そういえば、と数年前に女性や浪人生に対して一律減点していた大学があったことも思い出した。当時のニュースでは、「女性は皮膚科医や眼科医になる人が多く、仕事がハードな外科医を希望する人は少ないため男性を

多くとる必要があったのだ。」と大学側の説明が伝えられた。似たようなことは、職種を越えてたびたび議論になっていないか。「女性の子育てがあるから」と、男女の職種を分ける理由付けをする。しかし、「なぜ女性が皮膚科医や眼科医を選ぶのか」ということに焦点が十分当てられていないと思う。制度は整っても、実際はなかなか理想に追いつかない。海外では、医師の労働時間制限があり、日本より働きやすい環境作りをしているらしい。もちろん日本でも、男性だけ、女性だけではなくて「男性でも女性でも働きやすい社会」を目指している。けれど、この手の話題はよく「男性VS女性」という構図になり、その戦いに終わりは見えづらい。この状況は変化しないのだろうか。適した人材が適したポジションに就けないのはとてももったいないことだと感じる。

人は、「ある立場」に置かれると、アンテナが向き、敏感に情報をキャッチするということがたくさんある。私も幼い時には人権の

そうだったのか石見銀山 調査研究 最新情報

第12回

石見銀山の “自然との共生” その2

石見銀山課
(☎0854-83-8132)

前回、江戸時代には、森林が循環型の「燃料供給装置」のような役割を果たしたことを紹介しました。今回は、その続きとなります。

江戸時代中期、石見銀山では地中深く坑道を掘り進め、銅の製錬をおこなうようになりました。

鉱石は硫化物を多く含むようになり、これを処理する「焼釜」が設けられました。鉱石処理のこの工程は、亜硫酸ガスを発生させ、周囲の木々を枯らしてしまいます。

同じ頃、石見銀山では鉱山の中心地域約50万㎡の広範囲に、クリの苗木が植えられたことが記録に残っています。クリは堅く、水にも強いことから、建築用材や坑内の補強材に適していました。石見銀山の植林が、枯木対策であっ

たという明確な記録はありませんが、植生の維持をした歴史があったのです。

手掘りの江戸時代とは比較にならないほどに採掘量が増大した現代、世界各地で進められている鉱山開発は「環境負荷」がつきまといまいます。森林の枯死がもたらす生態系の破壊は、人類全体の課題となっています。

自然破壊こそが文明を崩壊させたという歴史事例を紹介したアメリカのジャレド・ダイアモンド博士の著「文明崩壊」は、世界的なベストセラーとなりました。その著では、日本の江戸幕府がおこなった循環型の森林政策は、文明を崩壊させなかった成功例と紹介し、注目を集めました。

江戸時代の日本でも、石見銀山は環境負荷の代表例でもある鉱山でありながら、植林するなどの環境への配慮をおこなっていたことを各国専門家が称賛。世界遺産委員会の審議では「石見銀山は21世紀の人類が最も必要としている価値を持っている。登録によって、この価値を広く世界に知らせるべきだ」とされ、登録が決議されたのです。

意識を感じることはほとんどなく、聞いて偏っているという事実は理解しても、心に刺さる、当事者の痛みを感じることはきつと無かったと思う。今でも、「人権」と聞くと、うまく整理して説明はできないと感じる。けれど、「人権」について考える事柄やきっかけはそこら中に転がっている。その立場になって考えてみるとゆがみや理不尽さに気づき、心がささくれる。

大田高校の前身の旧制中学校が開校したのと同じ1921年に発行された与謝野晶子の『『女らしさ』とは何か』という作品を読んだことがある。大正時代に書かれたとは思えないほど、現代の社会を表現しているようだった。それほど、百年前と現在の考え方が変わっていないということが。

変えることは、難しいのだろう。だから新しい制度や社会を作っていくには草の根的な活動と、政策のように一気に推し進める二つの力が重要だ。調べてみると、普段はジェンダーギャップ解消のためにワークシヨップを企画し中高生に呼びかけつつ、有識者会議にも参加し、政策提言に携わる団体もあるらしい。変わらないからと諦めずに、こんな風に、両方の側面から進めているのだ。

男女問わず、無意識の思い込みが見受けら



れないか。例えば、「女子は文系が得意」「男性の方がリーダーに向いている」など。多く転がっている、気づかないうちに、発言しているかもしれないアンコンシャスバイアスな言葉たち。

自分の人生を自分で決めるために、高校生が私たちができることは、「なじまなくなつたこれまでの常識」をよりよくチェンジしていくこと。正解が決まっていなくても議論できる土壌をつくること。多くの分野で活躍する女性、男性を知る機会を見逃さないこと。これからの常識をつくるのは私たちだ。

「男性VS女性」のような二者択一論的な考え方ではなく、全ての人が良い気持ちで暮らせる社会を作っていくかといけない。情報を敏感にキャッチし、自分なりに考えていこう。高校生だからと尻込みせずに、いろいろなことにチャレンジし、多くのことを学ぼう。そして、未来の世代に多様な生き方を示すロールモデルになっていきたい。

最優秀作品の講評

現代社会の人権課題に敏感で男女間の差別について主体的に考えた作品である。日常の何気ない言動に潜む理不尽さや歪みを指摘するだけでなく、その状況に立ち向かう意志が力強く語られている。未来の世代に多様な生き方を示すロールモデルになりたいと語る著者を応援したい。

さずなへのご意見は…

人権推進課

☎0854-83-8038

石見銀山遺跡は、人類の平和と人権の尊重をめざすUNESCOの世界遺産に登録されています

大田西中生と給食交流 邇摩高生が給食メニューを開発

2月22日、邇摩高校生活系列食物モデルの3年生4人が大田西中学校を訪れ、課題研究で考案した給食メニューを1年生4人に発表しました。

考案したサバカレーチャーハン、カレー味をつけることで、魚の匂いを気にせず食べられると説明。そして、一緒に給食を食べた後には、中学生が「食べやすくて、とてもおいしかった」と感想を伝えました。



給食後には中学生が感想を発表しました

受賞者を決定

「ふるさとそして未来」作文コンクール



受賞した皆さん

- ◇小学生の部 (敬称略)
 - 難波利三賞 杉本 紬 (静間小⑤)
 - 市長賞 梶 彩 (川合小⑥)
- ◇中学生の部
 - 難波利三賞 那須 こはる (第一中③)
 - 市長賞 大谷 結菜 (大田西中①)
 - 審査員特別賞 段 和響 (大田西中①)
- ◇団体賞 中学校の部 大田西中学校

☎石見銀山課 (☎0854-83-8131)

情報あはかるこ

申…申し込み先
問…問い合わせ先

お知らせ

異動に伴う健康保険の手続き

【退職する】

職場を退職した際、健康保険は次の3つから選び、手続きをすることになります。

①現在の職場の健康保険に「引き続き」加入する↓ご自身の職場

②家族の健康保険の「被扶養者」になる↓家族の職場

③国民健康保険（国保）に加入する↓市役所本庁市民課
または各支所市民生活課

—において手続きが必要で
す。それぞれにお問い合わせ
ください。

加入する健康保険ごとに負

市勢

（令和5年3月1日現在）

○人口	32,670人	(△ 37)
・男	15,712人	(△ 20)
・女	16,958人	(△ 17)
○世帯数	15,471世帯	(△ 24)
○出生数	24人	
○死亡数	48人	
○面積	435.34km ²	
	() 内は前月比	

担する保険料が異なります。
◇国民健康保険の保険料試算
税務課市民税係（☎0854・83・8022）にお問い合わせください。

【市外に進学する】

国保の継続加入ができます。
国民健康保険に加入している人が、進学のため市外に転出する場合は、特例により引き続き国民健康保険に加入することができま

す。在学証明書か学生証の写しを持参し、市民課または各支所市民生活課で手続きをしてください。

有効期限は、市内にお住まいの家族と同じ7月末で、毎年8月に自動更新されますが、卒業見込みの年は3月31日までとなります。

当初の卒業見込みが変更になった場合は、必ず申し出て

ください。
■市民課保険年金係
（☎0854・83・8154）

固定資産の縦覧 5月31日まで

「縦覧」制度は、納税者の皆さんが所有する資産の評価が適正であるか、確認できるように設けられた制度です。

▽固定資産の縦覧期間
4月3日(月)～5月31日(水)
8時30分～17時15分
(閉庁日を除く)

▽縦覧できる人
納税者、または納税者から委任を受けた人（委任状が必要）

※ 縦覧は無料です。
▽縦覧をお断りする場合
・所有者を特定した縦覧台帳の「閲覧」は、随時受け付けています。

▽閲覧できる人
①納税義務者本人、または同一世帯員（委任状は不要）

②納税義務者から委任を受けた人（委任状が必要）

③借地人、借家人（借地、借家部分についてのみ閲覧可

能。借地、借家の事実がわかる貸借契約書などを持参ください）

※ 縦覧、閲覧とも法人については、代表者がおこなう場合であっても法人の委任状が必要です。

※ 縦覧、閲覧場所は本庁税務課のほか、各支所市民生活課でも受け付けています。
■税務課資産税係
（☎0854・83・8024）

危険物取扱者試験 （甲・乙・丙種）

第1回試験

▽試験日 6月4日(日)
▽受付期間（電子申請）3月31日(金)～4月14日(金)・
（書面申請）4月3日(月)～17日(月)

▽会場 松江・大田・益田
第2回試験

▽試験日 6月11日(日)
▽受付期間 第1回と同じ
▽会場 出雲・浜田・隠岐
第3回試験

▽試験日 10月29日(日)
▽受付期間（電子申請）8月18日(金)～9月1日(金)・
（書面申請）8月21日(月)～9月4日(月)

▽会場 松江・大田・益田
第4回試験

▽試験日 11月5日(日)
▽受付期間 第3回と同じ
▽会場 出雲・浜田・隠岐
危険物取扱者試験
準備講習会（乙種第4類）
松江会場

▽実施日 5月9日(火)
▽会場 テクノアークしまね
▽定員 36人
浜田会場

▽実施日 5月11日(木)
▽会場 いわみーる
▽定員 30人

※ 受講申請、払込期限は講習会の1週間前までです。
※ 受験願書と受講申請書は最寄りの消防署にあります。
■消防本部
（☎0854・82・0650）

送便の回数が減ります

市役所とまちづくりセンターとの文書の受け渡しをしている送便は、4月から週5回を2回に減便します。各種手続きをお急ぎの場合は、本庁または各支所にてお願いします。

■総務部総務課
（☎0854・83・8013）

軽自動車税(種別割) 減免申請は5月31日まで

身体障がい者手帳などの交付を受けた人で、一定の要件を満たす場合は、軽自動車税(種別割)が減免されます。

▽対象となる軽自動車

・1人につき1台

・所有者は原則、障がい者などの本人としますが、本人が所有する軽自動車がない場合に限り、生計を一にする人が所有する軽自動車も対象

・障がい者などを「常時介護する人」が運転する場合は、障がい者などが所有する軽自動車を運転する場合に限る

▽申請に必要なもの

①身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳、戦傷病者手帳のうち1点

※ 対象となる等級は、お問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

②運転する人の運転免許証

③減免を受ける車の自動車検査証(車検証)

④減免申請書

⑤マイナンバーカードまたは通知カード

※ 令和4年度に減免を受けた人は、3月下旬に申請書を送付します。郵送で申請することができません。

▽申請受付期間

4月3日(月)～5月31日(休)

※ 受付期間を過ぎると、減免は受けられません。

※ 普通自動車は、西部県民センター県央事務所(あすてらす内 ☎0854・84・9576)へお問い合わせください。

■ 関税務課市民税係

(☎0854・83・8022)

温泉津支所市民生活課

(☎0855・65・3111)

仁摩支所市民生活課

(☎0854・88・2111)

福祉タクシー利用券

4月1日から使える利用券を窓口で発行します。

▽対象者

①身体障がい者手帳所持者

(総合等級1～2級)

②療育手帳所持者(A判定、有効期限内のものに限る)

③精神障がい者保健福祉手帳所持者(等級問わず、有効

期限内のものに限る)

▽申請受付 3月27日(月)～

▽必要なもの

有効期限内の上記手帳

※ 複数の手帳をお持ちの人は、該当する手帳をすべてご持参ください。

▽注意事項

・交付枚数は1年分で1人につき24枚(1枚500円分)

・いかなる理由でも再発行はできません

・運賃の額に応じて乗車1回につき2枚まで使用可能

・申請の代行はできませんが、「申請に必要なもの」をすべてご持参ください

・有効期間を過ぎた利用券は使用できませんので、窓口へ返却してください

■ 関地域福祉課

(☎0854・83・8142)

温泉津支所市民生活課

(☎0855・65・3111)

仁摩支所市民生活課

(☎0854・88・2111)

福祉医療費助成制度

福祉医療費助成制度は、重度障がい者やひとり親家庭の人が医療費の助成を受けることができる制度です。病院で

の窓口負担が1割となるほか、薬局での負担がなくなります。

▽対象者

①3か月以上寝たきりで、介護が必要な65歳以上の

②療育手帳A判定の人

③身体障がい者手帳1・2級の

④精神障がい者保健福祉手帳1級の人

⑤身体障がい者手帳3・4級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

⑥精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

⑦精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

⑧精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

⑨精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

⑩精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

⑪精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

⑫精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

⑬精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

⑭精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

⑮精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

⑯精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

⑰精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

⑱精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

⑲精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

⑳精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

㉑精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

㉒精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

㉓精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

㉔精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

㉕精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、重度と同程度の知的障がいのある人

精神障がい者保健福祉手帳2級の人で、身体障がい者手帳3・4級の人

⑥ 所得税非課税世帯のひとり親家庭で、18歳未満または高校3年生までの子どもおよび、その子どもを養育している人

※ 認定要件を満たしても、所得によっては助成の対象とはならない場合があります。

■ 関市民課保険年金係

(☎0854・83・8154)

温泉津支所市民生活課

(☎0855・65・3934)

仁摩支所市民生活課

(☎0854・88・2113)



ありがとうございます

(順不同・敬称略)

石見銀山基金への寄附者

- ・森田製菓株式会社
 - ・イオンリテール株式会社
 - ・銀の店 ・鈴木 俊子 ・福田 規夫
- 令和4年6月1日～令和5年2月28日の確認分
(公表を望まれない人を除く)

■ 関石見銀山課 (☎0854-83-8131)

大田市地球温暖化対策地域協議会への寄附者 (有料レジ袋収益金のご寄付)

- ・イオンリテール株式会社 イオン大田店
- ・株式会社ウシオ グッディー大田店
- ・JAしまね石見銀山地区本部
JAグリーンおおだ
- ・有限会社小川商店 ・有限会社石東酒販

■ 関大田市地球温暖化対策地域協議会
(事務局/環境政策課 ☎0854-83-8071)

催し

あすてらす映画上映会

▽日時 4月15日(土)14時

▽会場 あすてらすホール

▽作品 「女たちの都」ワッ

ゲンオツゲン」(201

2年/103分)

▽内容 愛する町の活性化のため、女たちがもくろんだのは「花街復活」。愛情と気

力あふれる女たちが織りな

すユーモラスな社会派人情

劇

▽定員 70人(要事前申込)

▽入場料 無料

▽申・岡県立男女共同参画セン

ターあすてらす

(☎0854・84・5557)

大江高山自然観察登山

登山をしながら、大田市指

定希少動植物であるイズモコ

バイモやギブチョウを観察し

ます。

▽日時 4月16日(日)

8時30分

▽集合場所 県道大田桜江線

の山田バス停前

▽参加費 無料

▽岡大代高山会事務局

(☎0854・85・2204)

認知症の人と家族のつどい 「ちゅうりっぷの会」

▽日時 4月8日(土)

13時~15時

▽会場 市民センター1階

▽参加費 100円

※ 事前申込が必要です。

▽申・岡世話人(野津☎080

・6315・9517)

募集

職業訓練センター 夜のパソコン講習

▽パソコン入門

▽日時 4月7日~5月1日

の(月・水・金) 19時~21時

▽会場 島根中央地域職業訓

練センター

▽定員 14人

▽料金 1万2000円

▽申込期限 3月30日(木)

▽申・岡島根中央地域職業セン

ター

(☎0854・82・9666)

令和5年度

ごみ指定袋掲載広告募集

市の資産(ごみ指定袋)を広告媒体として活用し、民間企業などの広告を掲載することにより、市の新たな財源を確保し、市民サービスの向上と地域経済の活性化を図るため、広告募集をします。

▽募集期間 4月3日(月)~21日(金)

▽広告掲載期間 広告掲載ごみ指定袋の完売まで

▽広告掲載位置 ごみ指定袋おもて本体中央

▽広告原稿 広告主が作成

ごみ指定袋 種類	家庭用燃やせるごみ	
	大	中
募集枠	2枠	2枠
広告枠(1枠)	縦12 [㍉] 横20 [㍉]	縦10 [㍉] 横15 [㍉]
掲載料(1枠)	128,000円	112,000円
印刷予定枚数	64万枚	56万枚
単価	0.2円	

※ 広告内容は「大田市広告掲載要綱」に基づき審査します。

※ 申込多数の場合は抽選とします。

※ 掲載予定枚数は広告募集時点のものです。変更した場合は、掲載料も枚数に応じて増減します。

▽岡環境政策課 (☎0854-83-8069)

マイナンバーカード

休日・夜間窓口を開設



事前に市民課への予約が必要です。

休日窓口(日曜日) 8:30~17:00

4月2日・23日 5月14日・28日 6月11日・25日

平日窓口延長(月曜日) 17:15~19:30

4月10日・17日 5月8日・22日 6月5日・19日

▽申請・交付場所 市役所本庁 市民課

※ 支所ではおこないません。

※ 現住所が温泉津町と仁摩町の人は、各支所でカードを保管していますので、5日前までにご連絡ください。

▽取扱事務

マイナンバーカードの申請・交付事務のみ

※ 住民票など各種証明書の交付事務はおこないません。

※ 予約状況などにより、希望日時に受け取りができない場合があります。

▽申・岡市民課 (☎0854-83-8067)

相続登記はお済ですか!?

木村司法書士事務所

司法書士 木村修也

事務所 大田市長久町長久口268-11 センタービル2F
(国道375号線沿い 明光義塾さん(1F)の上階です)

☎0854-86-8255お気軽にご相談ください。

(広告)

不良空家の除却費 一部補助します

建物に一定程度の破損があり、周辺に及ぼす危険性が高い空家の除却費用を一部補助します。

▽対象者

空家の所有者または相続人、もしくはその同意を得た土地の所有者

▽対象となる空家

- ・市内にあり、おおむね1年以上の使用実態がない木造個人住宅
- ・登記事項証明書に所有者以外の権利が設定されていない住宅（同意がある場合を除く）

▽条件

- ・事前に調査を申し出て、不良空家の確認（判定）を受けること
- ・不良空家の全部を除却する工事であること

▽補助金額

対象経費の5分の4（上限50万円）

※ 居住に用いられていない蔵や物置などの建物、付属する塀や樹木などの除却に要する費用は対象外です。

▽受付期間

4月3日(月)～6月16日(金)

▽補助件数 4件（予定）

※ 先着順ではなく、審査により緊急度の高い空家を補助します。

☎建築営繕課（☎0854-83-8207）

浄化槽設置などにご活用ください

美しい自然と快適な生活環境を守るためご理解とご協力を

集合処理区域

家屋が密集し、まとめて排水を処理することが適している地域は、公共下水道や農業集落排水などにより整備を進めています。

◇集合処理区域内で浄化槽を設置する

集合処理区域であっても、当分の間、下水道などの整備が見込まれない区域の人が浄化槽を設置される際は、設置費用の一部を補助します。

▽対象 一般住宅（販売目的の住宅は除く）で10人槽以下の浄化槽を設置する人

▽補助金額 5人槽/20万円 7人槽/23万円 10人槽/30万円

▽補助予定件数 10件

▽受付期間 4月3日(月)から予定件数を満たすまで

個別処理区域

家屋が点在し、集合処理に適さない地域は、市設置型浄化槽の整備を進めています。

◇個別処理区域内で浄化槽を設置する

市が主体となって浄化槽を設置します。ただし、分担金・使用料が必要です。

▽受益者分担金 一般家庭 一律25万円

※ そのほかの用途は、人槽により異なります。

▽使用料 浄化槽の使用開始後、使用水量に応じて2か月ごとに請求

▽設置予定件数 80件

▽受付期間 4月3日(月)から予定件数を満たすまで

◇個別処理区域内で既に浄化槽を設置した

既に自費で設置している場合、市に無償で譲渡していただければ、市が維持管理・修繕などをおこないます。ただし、使用料が必要です。

▽譲渡条件 浄化槽が適正に維持管理されていると認められること

▽使用料 浄化槽の譲渡後、使用水量に応じて2か月ごとに請求

※ 詳細は、市ホームページをご覧ください。また、浄化槽の設置や譲渡をご検討の際は、早めにご相談ください。

☎下水道課（☎0854-83-8116）

新規事業

下水道への接続費用の一部を補助します

既存住宅を新たに下水道へ接続しようとする人に対して、排水設備工事費用の一部を補助します。下水道供用開始済み区域で、現在も浄化槽や汲み取り便槽を利用している人は、この機会に下水道への接続をご検討ください。

▽補助金額 上限3万円

（工事費が6万円未満の場合は工事費の2分の1）

▽対象 既存住宅で新たに下水道へ接続する人

次の人は補助対象外です。

- ・借家で貸主が施工、または貸主の許可が得られない人
- ・建物の販売を目的として下水道へ接続しようとする人
- ・下水道整備時に公共ますの設置を求められなかった人

▽補助予定件数 90件

▽申込方法 排水設備の確認申請書に補助金交付申請書を添付して提出

▽申込期間 4月3日(月)から予定基数を満たすまで

詳しくは、お問い合わせください。

☎下水道課（☎0854-83-8116）

子ども食堂 4月の予定	①おおだ子ども食堂 おおだふれあい会館	②みんなの食堂 祖式ジム	③多世代交流食堂みーる堂 ゆきみーる（若者も無料）
子ども 無料 大人 ①③300円 ②100円	22日(土) 17:00～19:00 ☎090-4897-4308	15日(土) 11:00～13:30 ☎090-1188-9088	15日(土) 17:00～19:00 ☎0854-83-7373

4月不燃ごみの収集日

大田（橋北）	5日	19日
大田（橋南）	7	21
川合・久利	6	20
久手（鳥越含む）	10	24
鳥井・長久（新諸友含む）	14	28
静間・五十猛・大屋	11	25
富山・朝山・波根	12	26
大森・水上・祖式・大代	13	27
三瓶・山口（大田野城含む）	3	17
仁摩地区	4	18
温泉津地区	13	27
▼不燃粗大ごみ		
川合・久利		12日
三瓶・山口（大田野城含む）		18日

ごみの持ち込み

▼燃やせるごみ

大田可燃物中間処理施設（静間町）

▼不燃ごみ

大田市不燃物処分場（仁摩町宅野）

▼プラスチック製容器包装

大田容器包装リサイクルセンター
（静間町／一般家庭のみ）

※ 事業所は持ち込みできません。

▼資源物A・B・Cグループ

大田リサイクルセンター
（大田町野城／休日・一般家庭のみ）

※ 事業所は持ち込みできません。

※ 平日は一般家庭の持ち込みもできません。

【平日】（祝日・休日は除く）

一般家庭 9時～16時

事業所 9時～15時

【休日】 2日・16日

一般家庭 8時30分～11時30分

※ 事業所は休日に持ち込みできません。

新型コロナウイルスワクチン接種

☎新型コロナウイルスワクチン接種対策室（☎0854-83-8203）

4月以降の新型コロナウイルスワクチン接種は、次のとおりです。
実施方法が決まり次第、広報おおだや市ホームページなどでお知らせします。

対象者と接種のスケジュール

対象	実施時期	5月～8月	9月～12月
65歳以上 基礎疾患がある人 重症化リスクが高いと医師が認める人 医療機関、高齢者・障がい者施設などの従事者		1回	1回
追加接種が可能なすべての年齢の人			1回

※ 子ども（5歳から11歳）や乳幼児（生後6か月から4歳）は、接種開始からの期間が短いため、接種期間を4月以降も延長します。

接種費用

無料

※ 令和5年度は、現行の特例臨時接種の実施期間を延長するため、全額公費負担となります。

使用するワクチン

当面、オミクロン株対応2価ワクチン

※ 9～12月の接種に使用するワクチンは、国において検討中です。

早春に花咲く 市の木 梅



市の木 うめ

江戸時代、梅の実には石見銀山で働く人たちの健康を維持し、鉱毒を防ぐ薬として使用されました。凛として清楚に美しく咲く花は、古くから親しまれています。

2月下旬、石見銀山公園では、梅の木に花が咲き始めていました。広さ約37㍻の公園には、約100本の梅の木があり、白色や濃いピンク色などのかわいらしい花が咲き、春の訪れを告げていました。

島根県知事選挙

島根県議会議員一般選挙

投票日

4月9日(日)

無料見積 古物・骨董買取
不用品・処分する前にお電話ください

スリーバックス

ホームページ <https://www.threebucks.net>

携帯 **090-8995-1256**
☎ (0855-55-0708) 江津市後地町 2486
許可番号 島根県公安委員会 711129000271

セコムして、よかった。

信頼される安心を、社会へ。

SECUM フリーダイヤル24時間受付
TEL **0120-756-312**
セコム山陰株式会社 松江市北陵町34番地

〈広告〉

〈広告〉

4月の相談

年金相談 (要予約)	
11日(火)・27日(木) 10時～15時	市役所4階大講堂
出雲年金事務所 お客様相談室 (☎0853-24-0045) 閩市民課 (保険年金係) (☎0854-83-8154)	
交通事故相談 (要予約)	
4日(火) 9時～15時	市役所2階第2会議室
鳥根県交通事故相談所 (松江市) (☎0852-22-5102) 閩危機管理課 (☎0854-83-8009)	
行政・人権合同相談	
7日(金) 9時～12時	おおだふれあい会館
閩人権推進課 (☎0854-83-8038)	
人権相談	
14日(金) 13時～16時	温泉津まちづくりセンター
21日(金) 13時～16時	仁万まちづくりセンター
閩人権推進課 (☎0854-83-8038)	
石見法律相談センター相談会 (要予約)	
21日(金) 10時～16時	おおだふれあい会館
閩・閩石見法律相談センター (☎0855-22-4514) 相談(40分以内)は原則無料。3回目の継続相談から有料。	

税・保険料

期限内に納付をお願いします

納期限および口座振替日	3月31日
国民健康保険料	9期
後期高齢者医療保険料	9期

市役所本庁の収納管理室で市税・国民健康保険料・後期高齢者医療保険料の納付や相談を受け付けます。

★夜間納付・相談窓口 (17時15分～20時)

3月29日(水)、30日(木)、31日(金)

4月10日(月)、27日(木)、28日(金)

★休日納付・相談窓口 (10時～14時)

4月16日(日)

閩収納管理室 (☎0854-83-8026)

生活相談		
ふくろず相	月～金 9時～17時 専用電話 0854-84-7577	暮らしの困りごと、悩みごとに関する総合的なサポート (電話・来所・訪問)
司法書士相談	11日(火) 10時～12時 要予約・無料	市社会福祉協議会本所
法律相談 (弁護士による パソコン面談)	7日・14日・21日・ 28日(いずれも金) 10時～15時40分 要予約・原則無料。 3回目の継続相談から有料。	市社会福祉協議会本所
閩・閩市社会福祉協議会本所 (☎0854-82-0091)		
こころの健康相談 (要予約)		
21日(金) 13時30分～15時30分	県央保健所	
閩・閩県央保健所健康増進課 (☎0854-84-9823)		
難病相談		
一般相談	月曜日～金曜日 8時30分～16時30分 電話相談のみ 1日(土) 9時～11時30分	しまね難病相談支援センター(出雲市) (☎0853-24-8510)
就労相談 (要予約)	12日(水) 13時30分～15時30分	
移動ナースバンク		
26日(水) 13時30分～16時	ハローワーク石見大田	
閩鳥根県ナースセンター (☎0852-27-8510)		
福祉職場相談会		
26日(水) 13時30分～15時30分	ハローワーク石見大田	
閩鳥根県福祉人材センター石見分室 (☎0855-24-9340)		
若者就労相談 (要予約)		
14日(金) 10時～12時	ハローワーク石見大田	
閩サポートステーション出雲 (☎0853-31-6663)		
はぴこ交流サロン (無料の結婚相談会)		
14日(金) 19時～20時30分	大田商工会議所	
閩大田はぴこ会事務局 (☎080-2940-7266) 電話受付：平日10時～18時、第2金曜日10時～21時		

鳥根県知事登録(鳥根県30ね5号) (社)日本しろあり対策協会会員
建築物防蟻防腐処理業登録 (社)日本ベストコントロール協会会員

総合害虫駆除 スズメバチ・羽アリ・シロアリ・ネズミ・ゴキブリ・ダニ・その他衛生害虫・床下換気扇
業務提携 (イワタニ鳥根の各支店にご相談下さい)

Iwatani Marucas
イワタニ鳥根株式会社
本 社 / 大田市長久町長久口 253-1
☎0854-83-7500 FAX 0854-83-7507
大田支店 / 大田市長久町長久口 253-1
☎0854-82-0117 FAX 0854-82-9116
静岡事業所 / 大田市静岡町 1053
☎0854-84-8411 FAX 0854-82-8768
仁摩営業所 / 大田市仁摩町仁万 532-1
☎0854-88-2356 FAX 0854-88-3550

トータルソリューション株式会社 ソウカン
大田支店 / 大田市大屋町大田 2730-2
☎0854-82-3408
山陰本社 / 浜田市後野町1779-14
☎0855-42-1789
☎0120-42-1789
浜田 / 益田 / 大田 / 松江

(広告)

鳥根県弁護士会所属

弁護士法人 **山陰リーガルクリニック大田事務所**
WEBによる遠隔相談を始めました お電話でご予約下さい
土曜無料法律相談実施中 (月1回)
交通事故・借金相談初回無料 (常時)

○ ローン様

R9 ★ ○
山陰リーガルクリニック

大田市長久町長久口 307 番地 5
(駐車場有り)
TEL0854-83-7780 FAX0854-83-7781
http://www.sanin-lc.jp

(広告)

激戦に沸いた

王将戦



提供／日本将棋連盟

将棋の八大タイトルの一つ、第72期 ALSOK杯王将戦七番勝負第5局が、2月25・26日に国民宿舎さんべ荘で開催されました。

今期は、初の防衛戦となる藤井聡太王将に王将戦挑戦者決定戦リーグを全勝で挑戦権を獲得し、タイトル戦通算100期をかけた羽生義治九段が挑戦する「黄金のカード」が実現。両対局者が2勝2敗で第5局を迎え、大田市での王将戦は2年ぶり6回目の開催となりました。

結果は藤井王将が101手で勝ち、対戦成績を3勝2敗とし、初防衛に王手をかけました。

将棋ファンにとどまらず、対局でふるまわれる「勝負めし」やおやつが大きな注目を浴びる王将戦。地元の食材を生かしたメニューや近隣店舗のおやつが準備され、数多くのテレビやインターネットで取り上げられるなど、大きな反響を呼びました。

「大田の大あなご」や「三瓶そば」など、食を通じた大田市の認知度の高まりに期待が寄せられます。



前夜祭では土江子ども神楽団が恵比寿の舞を披露。鯛ならぬ大あなごが釣り上げられると、二人は笑顔で拍手を送りました



大盤解説会には出雲市出身の里見香奈女流5冠も聞き手として登場。羽生九段とのエピソードを紹介する場面がありました



2年ぶりの雪あかり

2月11日、三瓶山東の原で「さんべ志学の雪あかり」が開催されました。

雪像づくりコンテストには家族などが参加し、協力しながら作品を作り上げました。趣向を凝らした20基近くの力作が並び、訪れた人が写真を撮りながら見て回っていました。また、暗くなるにつれ、約3,500個の雪あか

りが浮かび上がり、会場は幻想的な雰囲気になりました。

このイベントは平成21年から始まり、今年で13回目。志学地区の若者サークル「たまりば」が中心となり、志学まちづくり協議会や地元の各団体、国立三瓶青少年交流の家の協力のもと開催しました。

2023年3月23日発行

次号は4月20日発行の予定です 柘村印刷社

NO.227

VEGETABLE OIL INK 環境に優しい植物油インキを 使用しています

©2012 大田市 ラビちゃん KBO7

発行・企画・編集／大田市役所政策企画課 広報広聴係
〒694-0064 大田市大田町大田1111番地 ☎0854-83-8006 Fax0854-82-6667
ホームページ <https://www.city.oda.lg.jp/> メール okohou@city.oda.lg.jp